



Parallaxis

平行線は永遠で交わるだろうか。

2025 12/24(wed) - 2026 1/6(tue)

Parallaxis

平行線は永遠で交わるだろうか。

今回の3人の作家は、それぞれ異なるものを見つめ、異なる表現で制作を行っています。彼らが「今」という時を生きながら何を伝えようとしているのか。本展は、その異なる視点が交わることで立ち上がる、この世界の形＝交差点に迫ります。

GALLEY MOS 松本恵介



橋本絵里奈

Erina HASHIMOTO

1996.8. 大阪府大阪市生まれ
2019.3 愛知県立芸術大学 油画専攻 卒業

身体感覚に基づく筆致と鮮やかな色層の重なりによって、抽象的な絵画空間を構築しています。
今回のテーマは「収納」。
デジタル化が進み、均質で滑らかな表層が都市を覆う中、私たちの内側にはいまでも、抑えきれない衝動や記憶の残滓といった“生”の痕跡が息づいています。
皮膚という境界の内側に潜む生々しさを意識しつつ、見えないもの、触れられないものを色と質感として顕在化させることを試んでいます。



甲村有未菜

Yumina KOMURA

1992.3 愛知県名古屋生まれ
2017.3 愛知県立芸術大学 日本画専攻 卒業

記憶の片隅にあるような、いつの日か見たことのある景色。時間の経過と共に在り続けるであろうその充実をとどめておきたくて、景色から抽出したカタチと余白を生かし制作しています。
顔料を塗り重ね、削ることで見えてくるもの。その繰り返しのなかで生まれる無作為の美しさと、そのものの存在を感じただけだと思います。



並木久矩

Hisanori NAMIKI

1996.6 長野県佐久市生まれ
2021.3 愛知県立芸術大学 彫刻領域 修了

私の制作は「我々はどこから来たのか」という根源的な問いに立ち返るための余白を生み出すことを目指しています。
約1万5000年から今日まで残る、考古学的遺物、彫刻、壁画などをモチーフとし、過去を追体験する過程に価値を置き、その制作が最終的には未来への問い「我々はどこへ向かうのか」へとつながると考えています。
その問いは、きっと人々の幸福のためにあるはずで、我々はそれを共有できると心から思っています。

2025年12月24日(水) → 2026年1月6日(火)

10時～19時※最終日は16時閉廊

※12月31日(水)は18時閉廊。1月1日(木・祝)・2日(金)は休業日
松坂屋名古屋店 本館8階 ART HUB NAGOYA open gallery



Matsuzakaya
松坂屋・名古屋店

電話050-1782-7000 〒460-8430 名古屋市中区栄3-16-1



営業時間はこちら